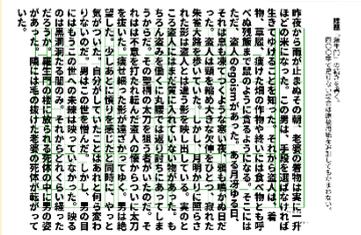


事例名			
小説の創作(『羅生門』)			
校種・学年	高等学校・2年		
教科・科目・単元・題材	国語科・言語文化・羅生門		
学校名<任意>	京都府立工業高等学校	事例報告者氏名<任意>	米田 光希
機能名(アプリ名)	ロイロノート		
ICT 活用のポイント			
『羅生門』の続きを創作する授業において、テーマや展開についてロイロノートを使用してグループワークを支援した。文章を書くことが苦手な生徒でも、生徒同士で意見を交流しながら、スモールステップで考えさせることで、内容を深めることができる。			
活用場面			
①ロイロノートを用いて、『羅生門』の続きを書くために、テーマ・展開・結末にそってプロットを作成する。			
			
②グループワークを行い、展開について意見を交流する。			
③プロットに基づいて文章にまとめる。			
授業者のコメント・児童生徒の主な反応等			
<p>小説を創作することに対して、次々にアイデアを生み出す生徒もいれば、なかなか展開を考えることができない生徒もいた。しかし、プロットの段階で意見を交流することで、様々な意見を参考に自分のアイデアを生み出すことができていた。</p> <p>また、自分の考えを他者に伝えることを通して、文章の表現方法や、『羅生門』の主題を表出させるための工夫を凝らすことに目を向けさせることができた。</p>			